



HOPPY team TSUCHIYA  
レーズリポート  
2025 SUPER GT Rd.2 富士スピードウェイ

|      |                     |        |                          |
|------|---------------------|--------|--------------------------|
| 日時   | 2025年5月4日 決勝        | ■車両名   | HOPPY Schatz GR Supra GT |
| ■場所  | 富士スピードウェイ           | ■カーNo. | 25                       |
| ■監督  | 土屋 武士               | ■ドライバー | 松井 孝允／佐藤 公哉              |
| ■チーム | HOPPY team TSUCHIYA | ■リザルト  | 決勝 22位(GT300クラス)         |

### 3時間の厳しい長丁場を走りぬいた 25 号車。

#### 悔しさと、トンネル脱出の光明を得て、また一つ先につながる戦いに。

2 戦目を迎えた今季の SUPER GT シリーズは大型連休真っ只中の富士スピードウェイが舞台。公式発表で土日の2日間でのべ8万人を超える観客が訪れた。今季巻き返しを図る No.25 HOPPY Schatz GR Supra は開幕戦では後方の予選順位から会心のレース運びで1ポイントを獲得。武士監督以下手応えを掴んだ。2戦連続ポイントをゲットして、その感触をより確かなものにしたい。3時間の長丁場を戦い抜ければ、きっとこの先に向けても大きな前進になるはず。HOPPY Team TSUCHIUYAの2戦目やいかに！

決勝当日も朝から快晴。ただ陽射しは昨日ほどではなく、常に風が吹くコンディション。大型連休の真っ只中ということもあり、朝は8時を回る前から富士スピードウェイのゲートからは渋滞の列が伸びていた。

決勝を迎えるにあたり、前日の予選で苦しんだ原因の究明を武士監督、松井&佐藤両ドライバー、木野エンジニア、武藤チーフメカニックらが徹底した議論を行った。朝からはその原因と思われる部分に手を加える作業が行われた。

決勝前のウォームアップ走行でのドライバーの反応はポジティブ。完全に解決とまでは至らないものの、光の見えた中で決勝を迎えられることとなった。



第1ステント担当は今回も佐藤公哉選手。HOPPY Team TSUCHIYA は事前のタイヤデータから、何もなければ第1ステントは長めにとる作戦だ。静岡県警によるパレードラップの後、1周のフォーメーションラップ。そして午後2時18分10秒レーススタート！午後5時18分10秒までの3時間の戦いが始まった。佐藤選手はスタートから安定して1分40秒前後のラップタイムペースで周回を進める。他チームと比べても遜色ないペースで走れており、やはり朝から施した方策が正しかったのかと期待したくなる展開だ。数台が接触やトラブルで脱落していく中、20周目には21位に。各チーム最初のピットストップが始まると、一時的には12位まで順位を上げた。41周目で最初のピットイン。しかしここはタイヤ交換はせず、給油のみという選択。2度目のピットストップの時間を短縮しようという狙いだ。ドライバーも佐藤選手のまま再びマシンはコースへ。ポジションは20位まで再び下げたものの、ここからまた佐藤選手が安定したペースを刻み、60周目には18位まで上げ、レースも残り1時間ほどとなったところで2度目のピットストップ。ここで給油とタイヤ交換。ドライバーも佐藤選手から松井選手へとスイッチ。残り1時間でどこまで上げられるか。ところがここで予想外の事態がチームを襲う。終盤の追い上げのために投入したソフト寄りのタイヤが思うように機能せず、ペースが上がらない。松井選手は懸命の走りを見せるが、じわじわと順位を下げ23位へ。81周目、ここでやむなく3度目のピットストップを決断。再びハード寄りのニュータイヤに交換し、最後の追い上げを図ることに。この判断が功を奏し、松井選手はここから猛烈な

追い上げを見せる。91 周目には 1 分 38 秒台に入ると、100 周目、103 周目とこの日の自己ベストを更新。最後は 1 分 38 秒 537 と昨日の予選に迫るようなラップタイムを記録。前走車との差を 0.243 秒まで縮めるも、ここで 3 時間経過。チェッカーフラッグとなった。第 2 戦は 22 位という結果でレースを終えた。想定外のタイヤの症状さえなければ 2 戦連続ポイントが見える展開ただだけに悔しさも残る。今回ポイントこそ獲得できなかったが、土曜日の苦戦から、今回もまた全員が最後まで諦めずできることを積み上げていくスタイルを貫き、チームとマシンはまた一歩前進したレースとなった。



### ▼決勝リザルト GT300 クラス 22 位

▼土屋監督コメント「予選が 2 戦連続の最下位でどうなっちゃうかな、と思っていましたが、決勝の順位は残念な順位ですが、非常にポジティブな気持ちで終わったレースだと思います。やっとスタートラインに立てたかな、と。いろんな悩みもあったんですが、ようやく晴れたような。ドライバーも思いっきり走ってくれて、タイム的にもタイヤ変えた後は非常にいいペースだったんでようやくスタートラインに立てたかな、という気持ちです。マシンには問題があったとされていて、これから検証しないといけないんですけど、だいぶ答えに近づいたんじゃないかなと思っています。これからもっと期待してください。頑張ります！」

▼松井孝允選手コメント「終わってみて、うまくいかないところもありましたが、分かったことの方が多くて、こうやったら戦えるようになる、というのが分かった段階で終わったことは不幸中の幸いかというか。こういう積み重ねで、今後上位で戦うためには大事になってくると思うので、いい状態で終わったのはよかったかなと思うので、これから鈴鹿のテストもすぐあるので、再確認してこの方向であつてよね、というのをもう一度確認した上で後半戦に向けて準備をしていきたいなと思います」

▼佐藤公哉選手コメント「今日はスタート担当させてもらって、ダブルスティント、タイヤ無交換ということで、久しぶりに長いことドライブさせていただいて色々発見があったレースかなと思います。本日試したセットアップで良かったところもたくさん見つけて、これを次に活かしていきたいともいます。結果以上に内容は収穫あったかなと思うので、これをしっかり活かして、インターバルを有効に使って次はバチっと行けるようにやっていきたいと思います。(Q.昨日とは表情もだいぶ違うが)たくさん走ってバトルとかもあったんですけど、レースしてポジティブな面が見つかったんでそれで表情が明るいのかな、と。ただ解決したわけではないのでこれをどう活かして、前に行くかまでが勝負だと思うので、しっかりやっていきたいと思います」



▼木野エンジニア コメント「非常に苦戦したレースウィークでしたが、その中で自分たちで色々仮説を立てた中で対策を施し、結果、決勝では大きなヒントを得られる展開となりました。決勝では良いペースを見せられる時間帯もあって全体的にポジティブだったと思います。レースの戦い方としてはベストとは言えなかったとされていて、タイヤの選択ミスなどそういうところは次に向けて精度を上げつつ、準備をしていきたいと思います」

◎この度 YouTube チャンネルを開設しました！ぜひご覧ください、またチャンネル登録もお願いいたします。

URL [https://www.youtube.com/@tsuchiya\\_25](https://www.youtube.com/@tsuchiya_25)

【問い合わせ先】

つちやエンジニアリング合同会社

〒252-0822 神奈川県藤沢市葛原2507

TEL : 0466-49-5010 FAX : 0466-49-5011

担当： 土屋・豊原